

もっと瀬上の魅力を知りたいなら 自然豊かな向瀬上へ足を伸ばそう！

⑨瀬上の渡し記念碑

阿武隈川には多くの渡し場「瀬上の渡し」がありました。寛永16年(1639)に「箱石瀬」(記念碑の800m程下流)に開設され、瀬上という地名となったという説もあります。以降、阿武隈川には多くの渡し場が造られ、「瀬上の渡し」は特に向瀬上の人々にとって、瀬上商店街への買い物や小中学校への通学路として、最も多い時で一日数百人の往来があり重要な生活道路でした。

やがて、道路交通網整備計画の一環である「月の輪大橋」が完成したことにより、阿武隈川で最後に残った「瀬上の渡し」も、平成7年8月に廃止されました。



⑩愛宕山

福島市景観100選のひとつ。愛宕山から西を眺めると、市街地に沿って阿武隈川や摺上川が流れ、吾妻連峰の稜線を遠方に眺めることができます。



愛宕山から阿武隈川と摺上川の合流地点を望む



元禄2年(1689)5月2日、松尾芭蕉は「奥のほそ道」行脚で、門人曾良と共に文知摺を訪ね名句を残した。

その帰途、「月の輪の渡し舟」で阿武隈川を渡り、瀬上へと向かっている。その歴史ある渡し場にちなみ、この橋を「月の輪大橋」とした。

(月の輪大橋欄干より)